

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

香取市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 香取市立小見川中央小学校)

「算数科 図形の学習におけるプログラミング学習プラットフォームの活用」

図形の学習で、プログラミング学習プラットフォームを活用し、誤ったプログラムを修正して作図する活動により、その性質に気付く正しく理解できるようにした。



メリット

- ・ プログラミング学習プラットフォームを利用することで、簡単に作図ができた。
⇒簡単かつ正確に作図できるため、作図が苦手な児童でも意欲的に取り組める。
- ・ 誤答の提示により、図形の性質に注目して学習することができた。
⇒プログラムの数値の正誤に注目させることで、正しい数値への修正に焦点をしばって考えることができ、拡大図・縮図の性質を正しく理解することができる。

2. 中学校の学習における活用方法 (学校名: 香取市立新島中学校)

「遠隔地とつないで出会う、オンラインゲストティーチャー」

(オンライン版「あすチャレ!ジュニアアカデミー」/日本財団パラスポーツサポートセンター主催)

オリパラ教育の一環で、パラアスリートをゲストティーチャーとしてオンライン授業を実施した。GIGA環境を有効活用できた。



メリット

- ・ 時間と距離を越えて、遠隔地のゲストティーチャーと出会うことができる。
⇒無駄を省いて時間を有効に活用できる。また、選択肢が増えることで目的に合致した人材を登用することが可能となる。
- ・ ICT機器の特性により、写真や動画等の資料を共有しやすい。
⇒要点をしばった提示が可能となり、より明確なメッセージを伝えやすくなる。
- ・ 感染症予防の観点からも、安全・安心な学習環境を維持できる。